

## 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みについて

地域子ども・子育て支援事業の種類	一時預かり事業（保育所型）
本市事業名	一時預かり事業（一般型）
事業の趣旨・目的	保護者の就労形態の多様化に伴う一時的な保育、保護者の傷病などによる緊急時の保育など、様々な保育ニーズに対応するため、実施するもの。
教育・保育提供区域	第三次区域
量の見込み	

## 1 量の見込み算出の考え方

## (1) 算出手順

実績の利用伸び率を使用して算出

## (2) 算出根拠

- ① 平成 22 年度から 25 年度（25 年度は見込み）までの利用率の伸びの平均は、1.069 であり、これに基づき、平成 26 年度以降の利用率を算出

	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
利用率	0.27%	0.29%	0.31%	0.33%	0.35%	0.37%	0.40%	0.43%	0.46%	0.49%
利用率の伸び	—	1.074	1.069	1.065	1.069	1.069	1.069	1.069	1.069	1.069
一時保育実績 (人日)	57,572	59,909	62,693	65,427						
うち一時預かり (人日) …注 1	33,595	34,986	36,260	37,841						
小学校入学前児童数 －要保育児童数 (人)	41,000	39,977	39,317	38,012						

- ② 各行政区・支所の区域の利用率について、各年度の伸びを 1.069 とし、

①と同様の方法により推計する。

ただし、各行政区・支所の区域ごとに、平成 31 年度の利用率が 0.49% を下回る場合は、平成 31 年度の利用率が 0.49% となるものと見込む。

- ③ ②で見込んだ量を、各行政区・支所内において、教育・保育提供区域（第三次区域）ごとの母数（小学校入学前児童数－要保育児童数）の割合に応じて按分。

⇒各提供区域ごとの延べ利用児童数等は別紙 1 参照

## 2 京都市における量の見込み（全市）

（単位：人日）

量の見込み	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
0～2 歳児	39,783	42,098	43,616	45,120	46,434
3～5 歳児	3,089	3,265	3,386	3,500	3,603
計	42,872	45,363	47,002	48,620	50,037

## 3 備考